

郊外型戸建団地の抱える問題の解消に向けて、

町田・玉川学園前・鶴川のエリア活性化の取り組みを強化

—10月25日(火)から、同エリア初となる延べ350人体制での戸別訪問を開始—

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：山木 利満）、小田急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区 社長：雪竹 正英）および株式会社小田急ハウジング（本社：東京都渋谷区 社長：端山 貴史）では、2016年10月25日（火）から、小田急線「町田駅」「玉川学園前駅」「鶴川駅」周辺の約23,000戸の戸建住宅を対象として、戸別訪問によるコンサルティングをはじめとしたエリア活性化の取り組みを開始いたします。

■ 郊外型戸建団地の抱える問題の背景

開発から40～50年が経過する郊外型団地では、居住者の高齢化が一斉に進行し、それに伴う空き家・空き地の増加が社会的な課題となっています。

小田急沿線の町田・玉川学園前・鶴川エリアは、新宿駅から約25～30kmに位置する丘陵地を中心とした自然豊かな環境であり、小田急グループでは同エリアにおいて、1950年代から約2,100戸の戸建住宅を供給するなど、住宅開発を行ってまいりました。

同エリアは、駅から離れた団地が多く、高齢化が進行していることから、小田急電鉄および小田急不動産では、2015年2月に、住みかえ支援を目的として事業提案した、国土交通省「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」に認定されたほか、2016年4月からは、同エリアにおいて生活支援サービス「小田急くらしサポート」のサービス提供を開始するなど、住まい・暮らしに関するサポートメニューを拡充してまいりました。

■ 小田急グループ従業員延べ350名を動員し、戸別訪問によるコンサルティングを実施

こうしたなか、小田急グループでは、10月25日（火）から、対象エリアの約23,000戸に対して、小田急グループの従業員延べ350人を動員し、同エリア初となる戸別訪問を開始します。

戸別訪問では、住まい・暮らしに関するお困りごとをヒアリングしたうえで、「リフォーム・リノベーション」「家事代行」「住みかえ」など、お客さまのニーズに即したコンサルティングを行ってまいります。

（町田市金井6丁目周辺 1992年撮影）



（戸別訪問の様子）



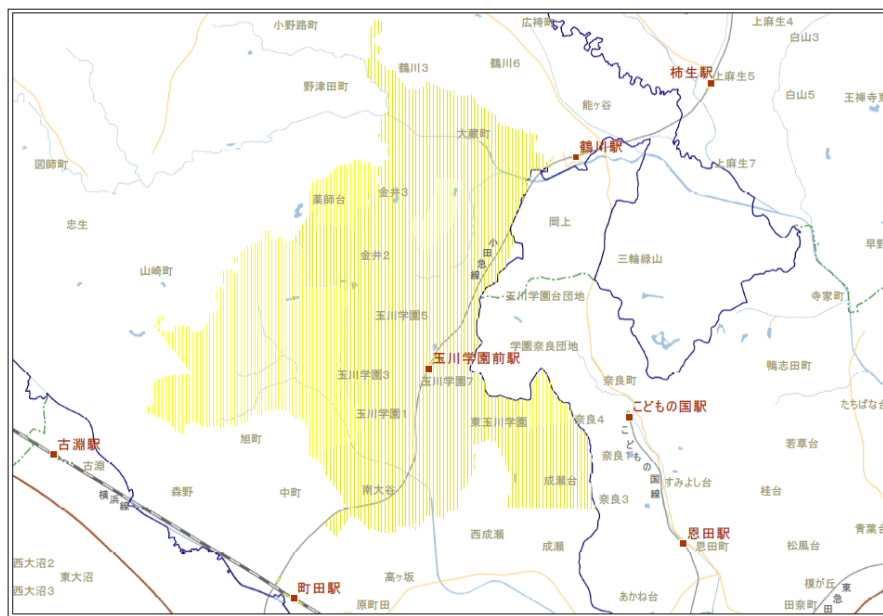
小田急グループは、沿線に密着する企業として、沿線のお客さまとのコミュニケーションをこれまで以上に強化するとともに、郊外型戸建団地の抱える問題の解消に資する取り組みを推進していくことで、エリア活性化による「日本一暮らしやすい沿線」の実現を図ってまいります。

取り組みの概要は、下記のとおりです。

記

1 訪問エリアの概要

- (1) 対象エリア：小田急線「町田駅」「玉川学園前駅」「鶴川駅」の周辺エリア
- (2) 対象住宅：戸建住宅
- (3) 対象戸数：約23,000戸（うち、小田急グループの旧分譲住宅約1,300戸）
（訪問エリア）



2 戸別訪問によるコンサルティング

- (1) 実施内容：
 - ①住まい・暮らしに関するアンケート調査票の配布
 - ②住まい・暮らしに関するお困りごとのヒアリング
 - ③小田急グループの商品・サービスのご紹介（小田急くらしサポート、リノベーション付き住宅サブリース、空き家管理サービスなど）
- (2) 実施時期：2016年10月25日（火）・28日（金）・11月1日（火）・4日（金）・8日（火）・11日（金）・15日（火）・18日（金）・22日（火）・25日（金）
- (3) 推進体制：小田急電鉄・小田急不動産・小田急ハウジングの従業員延べ約350名

3 これまでのエリア活性化の取り組み

小田急電鉄・小田急不動産・小田急ハウジングでは、住みかえ支援を強化するため、2014年から沿線エリアにおいて、戸別訪問によるコンサルティングを継続して実施しており、7,700件を越える沿線のお客さまとのコミュニケーションを図ってまいりました。

エリア	駅名	実施時期	面談件数
世田谷・狛江エリア	世田谷代田～和泉多摩川	2014年10・11月	1,876
〃	〃	2015年5・6月	2,839
〃	豪徳寺～和泉多摩川	2016年7・8月	1,034
川崎・多摩エリア	登戸～柿生、栗平	2015年10・11月	1,968
累計			7,717

以上

※このニュースリリースは、次のところにお届けしております。

○国土交通記者会 ○国土交通省建設専門紙記者会 ○都庁記者クラブ ○町田記者クラブ

このニュースリリースに関するお問い合わせは、以下までお願いします。

小田急不動産(株) 総務部 総務グループ（長谷川・加納） TEL03-3370-1110
 小田急電鉄(株) CSR・広報部 （奥津・斉藤） TEL03-3349-2290

(別紙)

小田急グループの主な大規模戸建分譲団地について

(1) 町田やくし台

- ① 住 所 東京都町田市薬師台1・2・3丁目
- ② 交 通 小田急線「鶴川駅」バス約7分
- ③ 団地整備期間 1981年～1985年
- ④ 分譲期間 1986年～2015年
- ⑤ 分譲戸数 674戸

(町田やくし台)



(2) アスコットヒル森の丘

- ① 住 所 東京都町田市金井6丁目
- ② 交 通 小田急線「鶴川駅」バス約5分
- ③ 団地整備期間 1983年～1987年
- ④ 分譲期間 1992年～2003年
- ⑤ 分譲戸数 422戸

(アスコットヒル森の丘)



(3) 「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」への認定

小田急グループでは、「町田やくし台」「アスコットヒル森の丘」ほかを対象として、2015年2月に国土交通省「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」に認定され、郊外型戸建団地の流通促進に向けた取り組みを進めてきました。

- ① 事業主体 小田急電鉄、小田急不動産、株式会社ブルースタジオ
- ② 事業内容 ア 対象団地の実態調査、住民ニーズの調査および分析
イ 住みかえに関する情報の提供
ウ 住宅診断の補助および住みかえに伴うリフォーム工事費の補助 など
- ③ 対象エリア 東京都町田市の一部、世田谷区の一部、神奈川県座間市の一部
- ④ 対象戸数 約22,000戸(持ち家世帯数)
- ⑤ 実施期間 2015年2月～2016年2月

以 上